

北方領土7千知識

北方領土の歴史

1855	日魯通好条約	今後、日本とロシアの境は「イトロフ」島と「ウルップ」島との間とする
		「カラフト」島は日本とロシアとの間で界を分たす従来どおりとする(混住の地)
		友好的な話し合いで解決されたことから、調印された2月7日を「北方領土の日」とされた
1875	樺太千島交換条約	日本は樺太に有する権利をロシアに譲り、今後樺太全島はロシアに属する
		ロシアはこれまで所有していた「占守島」から「ウルップ」までの18島を日本に譲り、今後クリル全島は日本に属する
1900	ポーツマス条約	ロシアはサハリン南部及び付近の一切の島嶼の財産を完全なる主権と共に永遠日本に譲与する
		譲与地域の北方境界は北緯50度と定める
1945.2.11	ヤルタ秘密協定	米英ソ3国首脳が会談し、ソ連の対日参戦の条件として、ソ連への南樺太の「返還」と千島列島の「引き渡し」を密約
.8. 9	ソ連軍の北方領土侵攻	ソ連は当時有効だった「日ソ中立条約」を無視して、対日参戦
.8.14	日本、ポーツダム宣言受諾	
.8.18	ソ連軍は9月18日から千島列島への攻撃を開始	
.8.28	ソ連軍択捉島上陸	
.9. 1	ソ連軍国後島・色丹島上陸	
.9. 4	ソ連軍歯舞群島上陸	
.9. 5	ソ連軍、9月5日までに北方四島を占領	
.9 ~	各島の守備隊長布告により、役場・警察等公的機関の解散せよと指示出す。軍政が開始され、選挙により日本人の部落会長を選出。島民の自力脱出が始まる	
.12	ソ連国境警備隊入島 取締強化 自力脱出困難	
1946.2	南サハリン州設置、北方四島をソ連編入 財産国有化 日本円廃止	
1946.4	民政局(署)設置、軍政から民政へ ロシア人移住政策が本格化、民間人が続々入島	
.12	米ソ引揚協定成立	
1947.7	北方四島の日本人第一陣が樺太経由で引揚、函館到着	
1948.10	北方四島から最後の引き揚げ	
1951	サンフランシスコ平和条約	日本は千島列島並びにポーツマス条約結果、主権を獲得した樺太に対するすべての権利を放棄
		放棄した千島列島に北方四島は含まれないというのが日本の立場
		ソ連は条約署名拒否
1956	日ソ共同宣言	ソ連は日本の要望に応え、日本の利益を考慮して、歯舞群島及び色丹島を日本に引き渡すことに同意
		これらの諸島は日ソ間の平和条約が締結された後に引き渡すとした
2016	日露首脳会談	四島において共同経済活動を行うための特別な制度に関する協議の開始に合意し、北方四島の未来像を描き、その中から解決策を探し出す未来志向の発想の「アプローチ」に基づき、平和条約締結交渉の中で今後協議していくこととなった
		元島民が自由に墓参・故郷訪問したいとの願いを叶えるため、人道上の理由に立脚して、あり得べき案を迅速に検討することで合意した